



厚生労働省静岡労働局発表
公表日 令和3年3月2日(火)

日時
解禁

令和3年3月2日(火)
午前8時30分以降

担当

静岡労働局 職業安定課
課長 加子 勝巳
地方労働市場情報官 松永 進
電話 054-271-9954

静岡県内の最近の雇用情勢 (令和3年1月分)

<雇用情勢の概況>

県内の雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある。

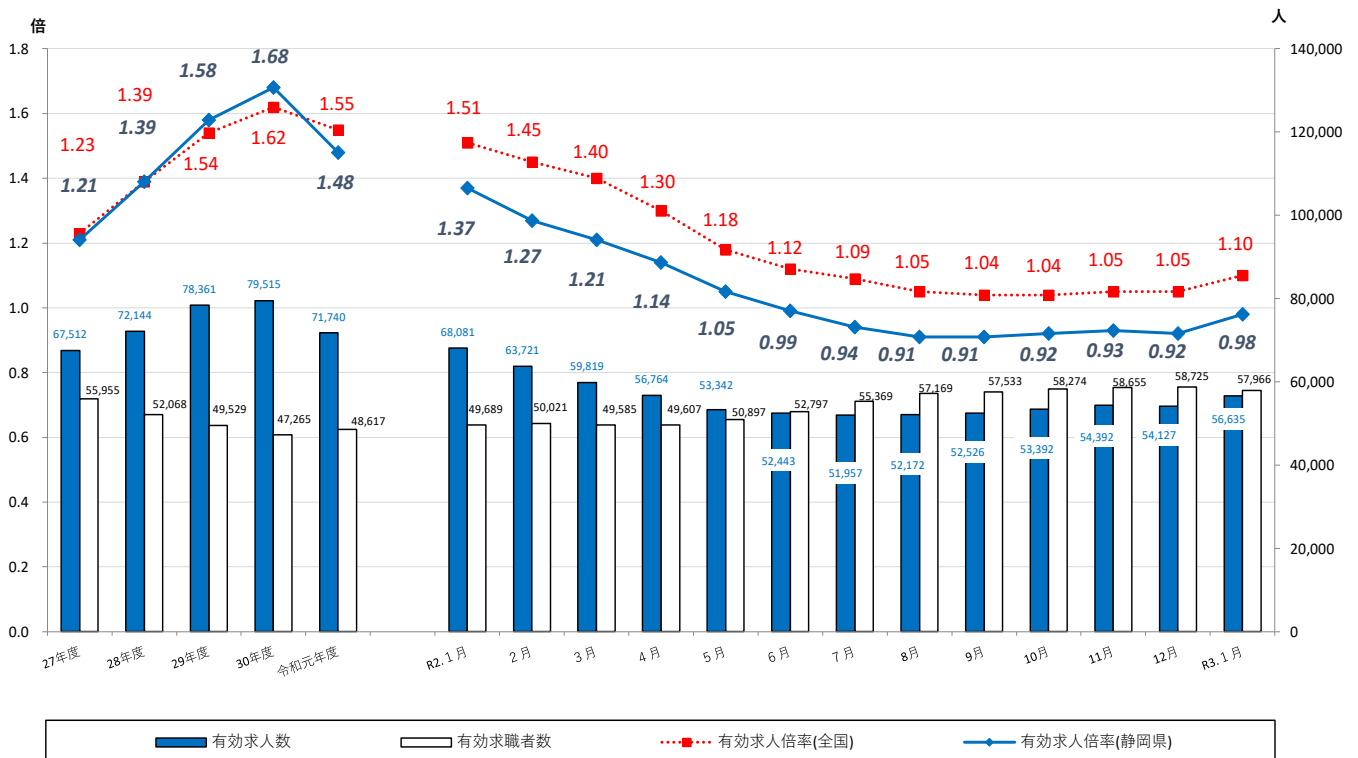
1. 有効求人・有効求職・有効求人倍率の推移

◎有効求人倍率(季節調整値)は0.98倍となり、前月を0.06ポイント上回った。

8か月連続で0.9倍台となり、全国値(1.10倍)を17か月連続で下回った。

・有効求人数(季節調整値)は56,635人(前月比4.6%増)となり、2か月ぶりの増加となった。

・有効求職者数(季節調整値)は57,966人(前月比1.3%減)となり、10か月ぶりの減少となった。

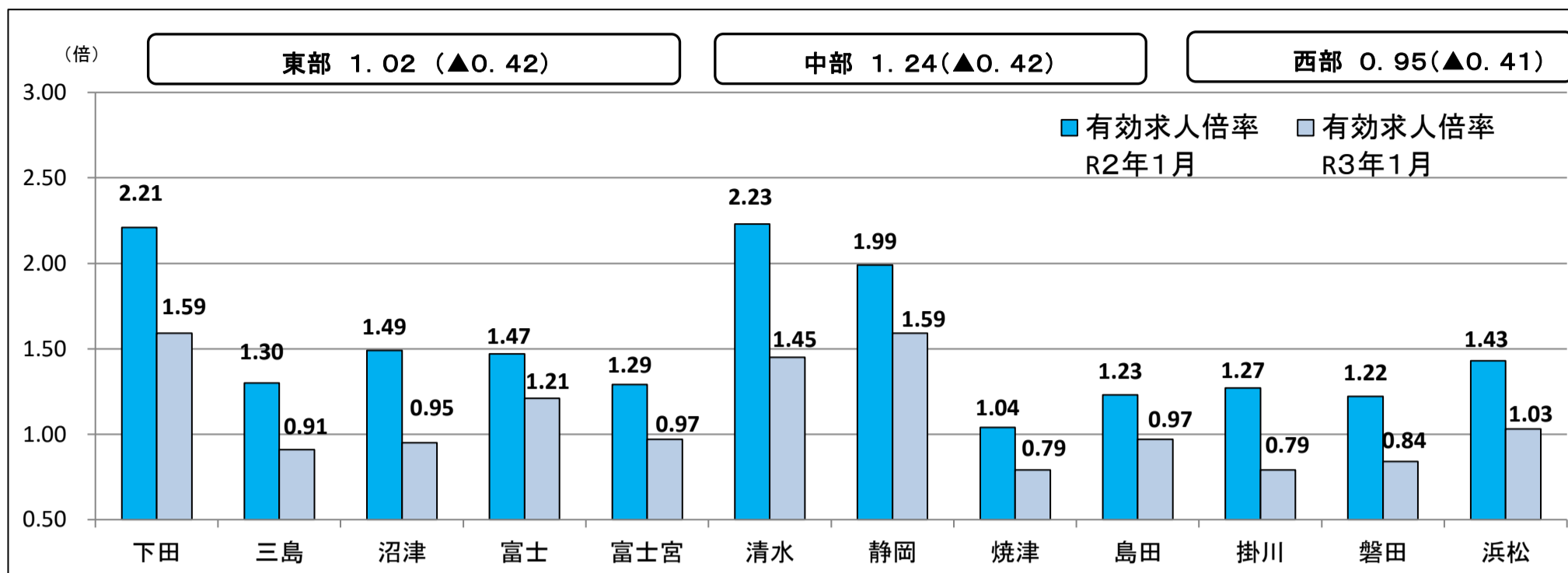


※1 月別の数値は季節調整済みの数値である。

※2 季節調整については、年に1度季節調整替えを行っている。なお、令和2年12月以前の数値は新季節指数により改定されている。

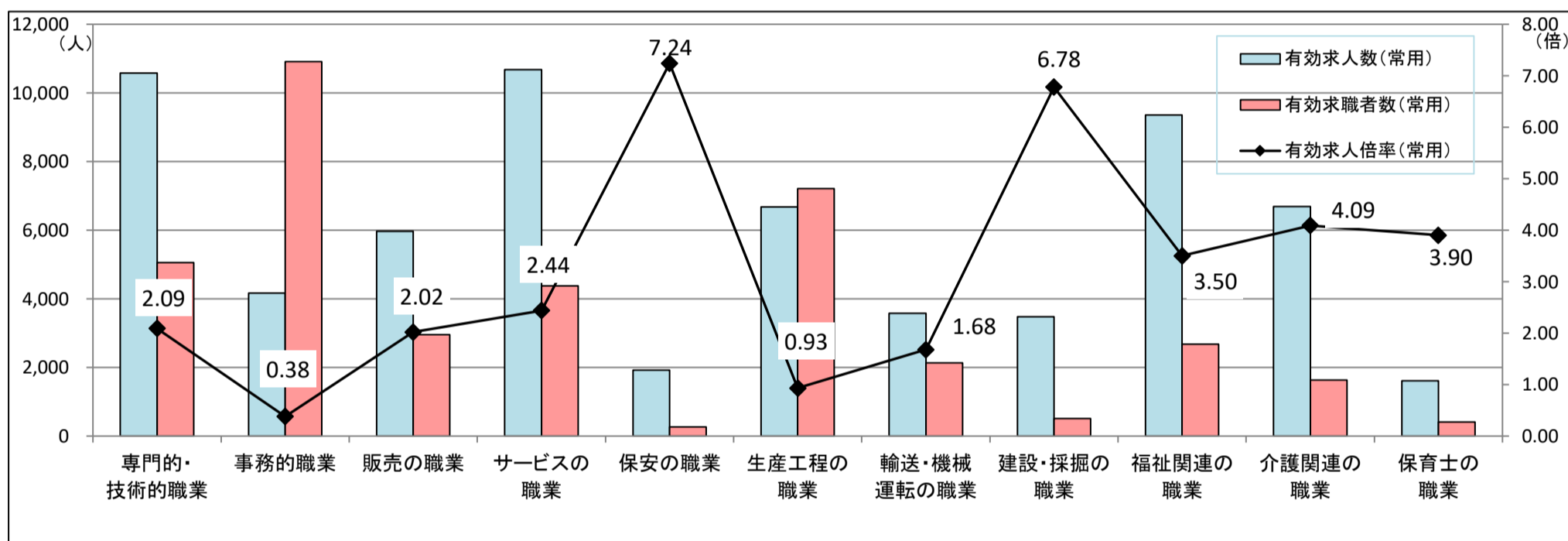
2. 地域別有効求人倍率（原数値）の状況

◎地域別有効求人倍率は、東部1.02倍、中部1.24倍、西部0.95倍となり、すべてのブロックで前年同月を下回った。また、安定所別は、全ての安定所で前年同月を下回った。



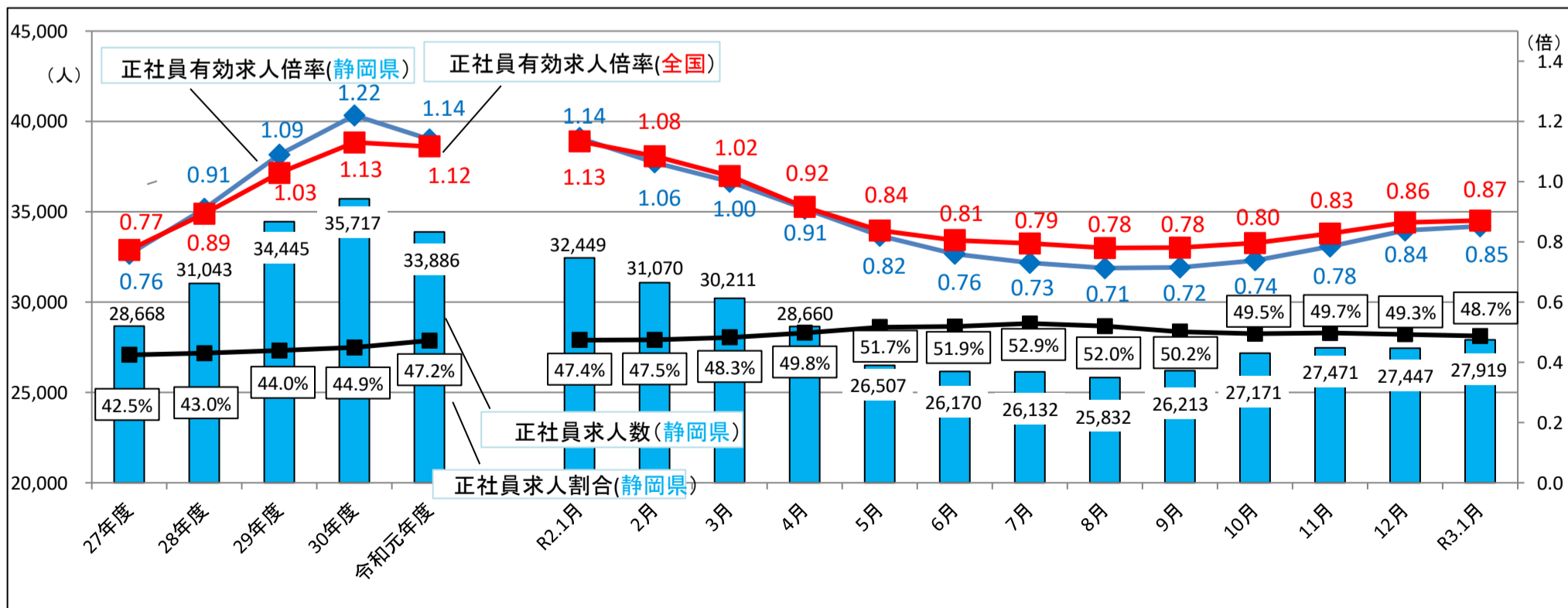
3. 職業別有効求人倍率（常用）の状況

◎職種別有効求人倍率は、保安の職業が7.24倍、建設・採掘の職業が6.78倍、介護関連の職業が4.09倍と高くなっており、事務的職業は0.38倍、生産工程の職業は0.93倍と低くなっている。



4. 正社員の有効求人倍率（原数値）・有効求人数（原数値）・求人割合（原数値）の状況

◎正社員の有効求人倍率（原数値）は、0.85倍となり、前年同月を0.29P下回った。12か月連続で全国値（0.87倍）を下回った。正社員の有効求人数（原数値）は、27,919人となり、前年同月を22か月連続で下回った。

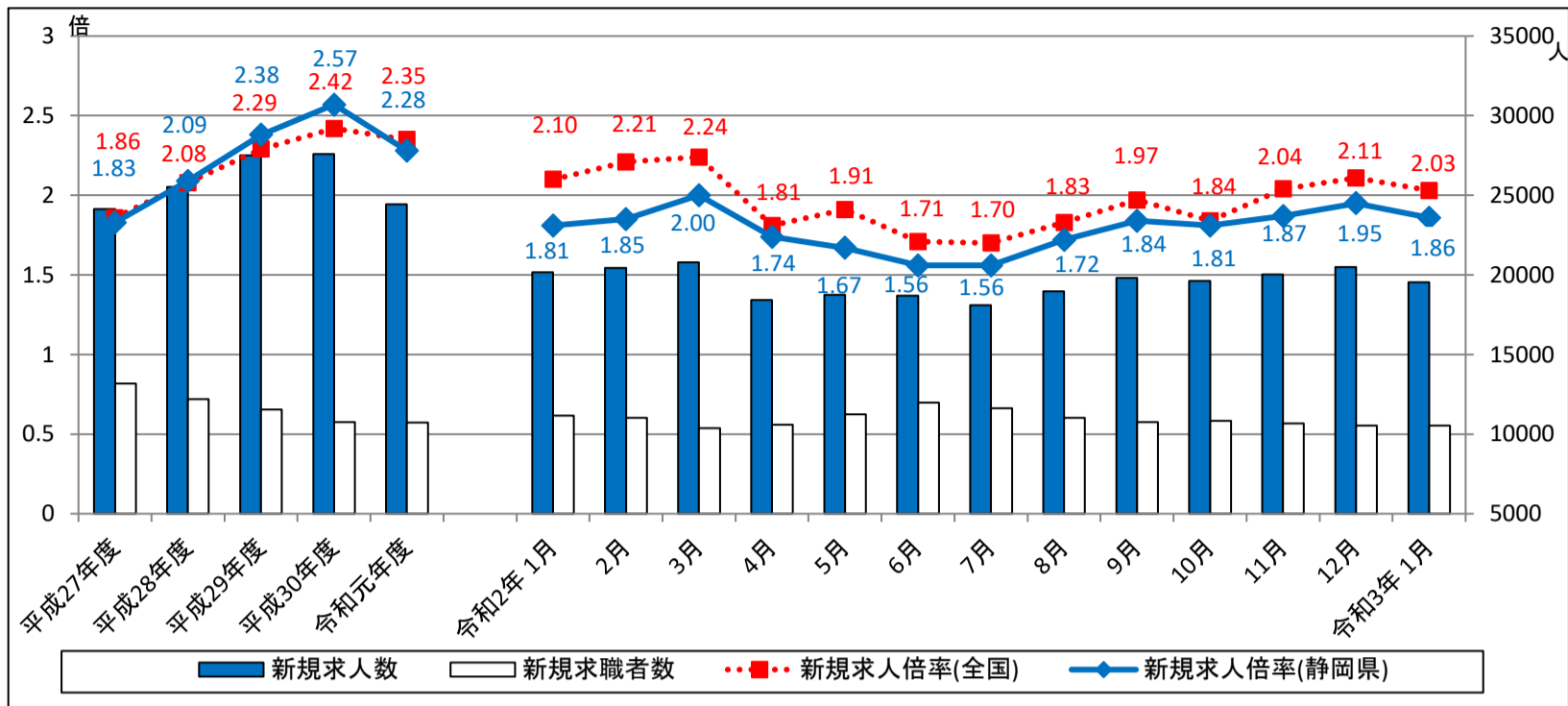


※1 正社員の有効求人倍率は、正社員の月間有効求人数をパートタイムを除く常用の月間有効求職者数(P6の(Ⅱ一般)-(11.月間有効求職者数)-(うち常用)参照)で除して算出しているが、パートタイムを除く常用の月間有効求職者数には、派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

※2 正社員の求人割合は、正社員の月間有効求人数を月間有効求人数(全数)(P6の(Ⅰ全数)-(4.月間有効求人数)参照)で除して算出している。

5. 新規求人・新規求職・新規求人倍率(季節調整値)の推移

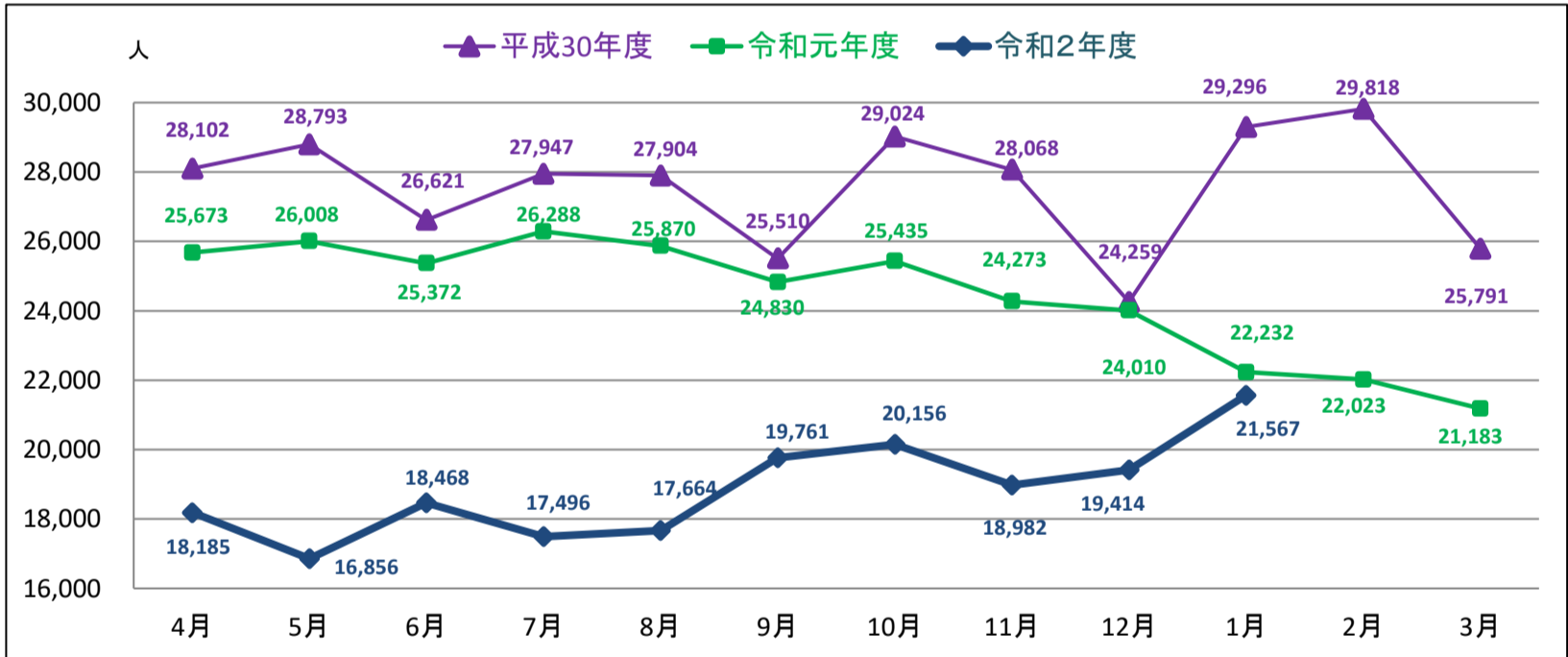
◎新規求人倍率(同)は1.86倍となり、前月を0.09ポイント下回った。10か月連続で1倍台となり、全国値(2.03倍)を0.17ポイント下回った。



※1 月別の数値は季節調整済みの数値である。
 ※2 季節調整については、年に1度季節調整替えを行っている。なお、令和2年12月以前の数値は新季節指数により改定されている。

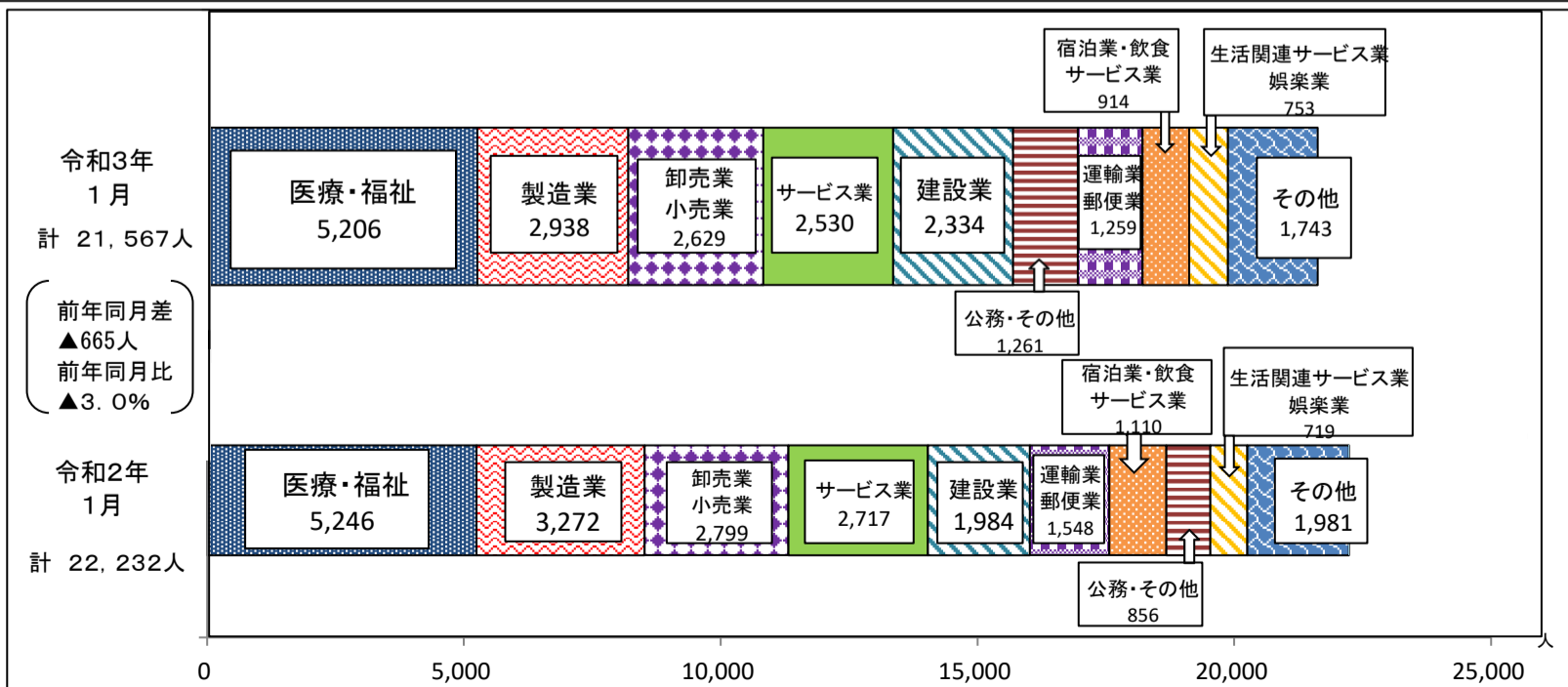
6. 新規求人数(原数値)の推移

◎新規求人数は、21,567人となり、前年同月比で3.0%減少した。うち一般求人数は13,044人となり、4.7%減少、パート求人数は8,523人となり、0.2%減少した。



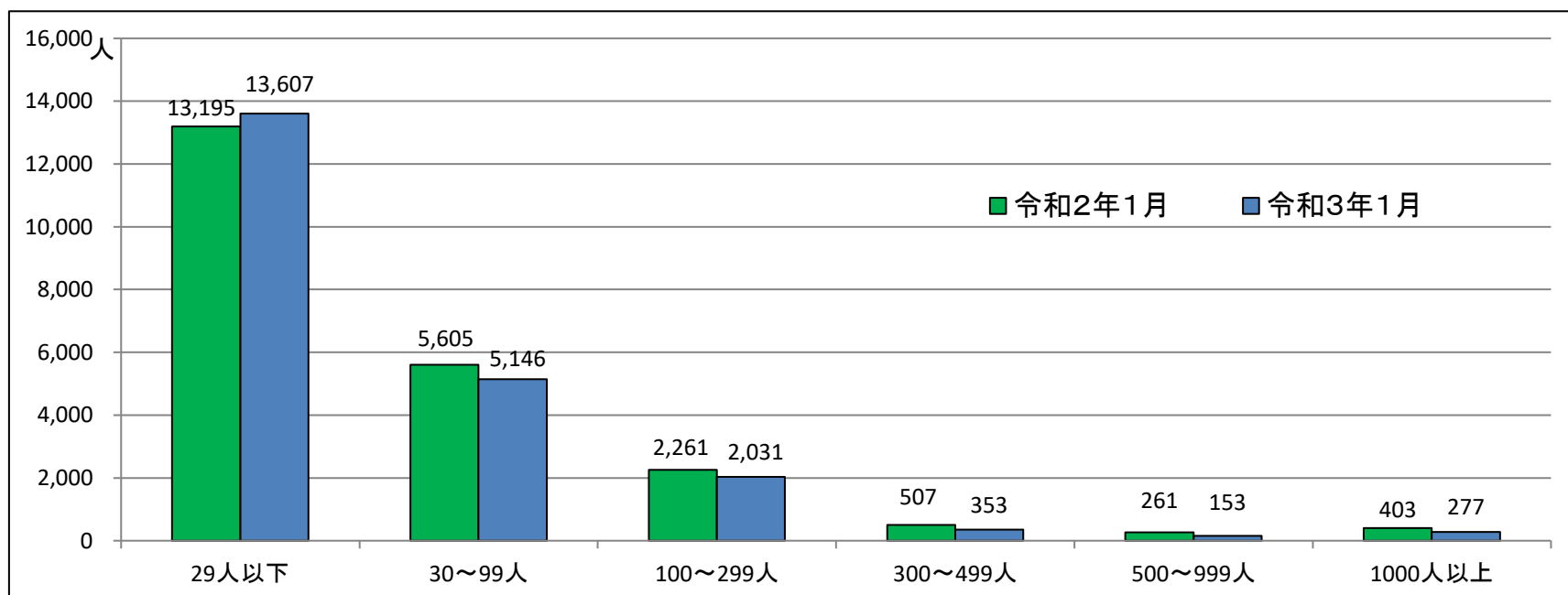
7. 産業別新規求人(原数値)の状況

◎産業別の新規求人数は、建設業で増加、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業で減少している。



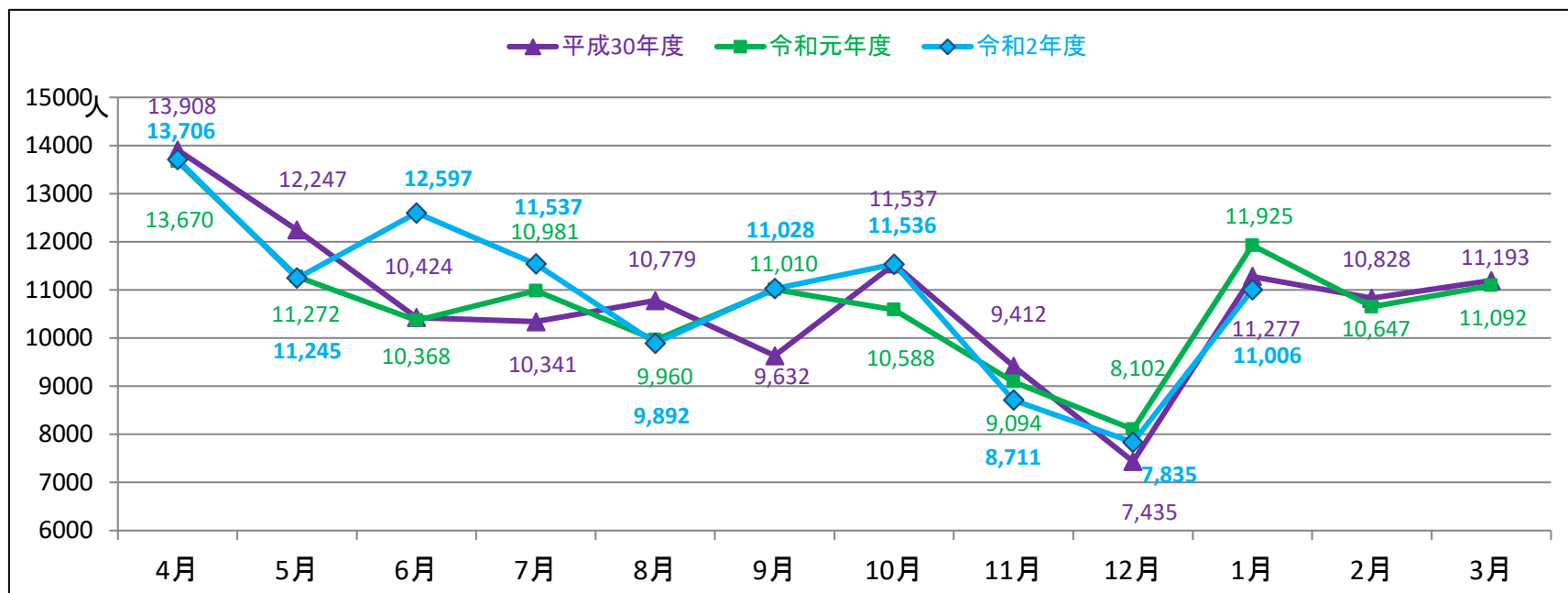
8. 事業所規模別新規求人(原数値)の状況

◎事業所規模別新規求人数は、29人以下の規模以外で、前年同月を下回った。



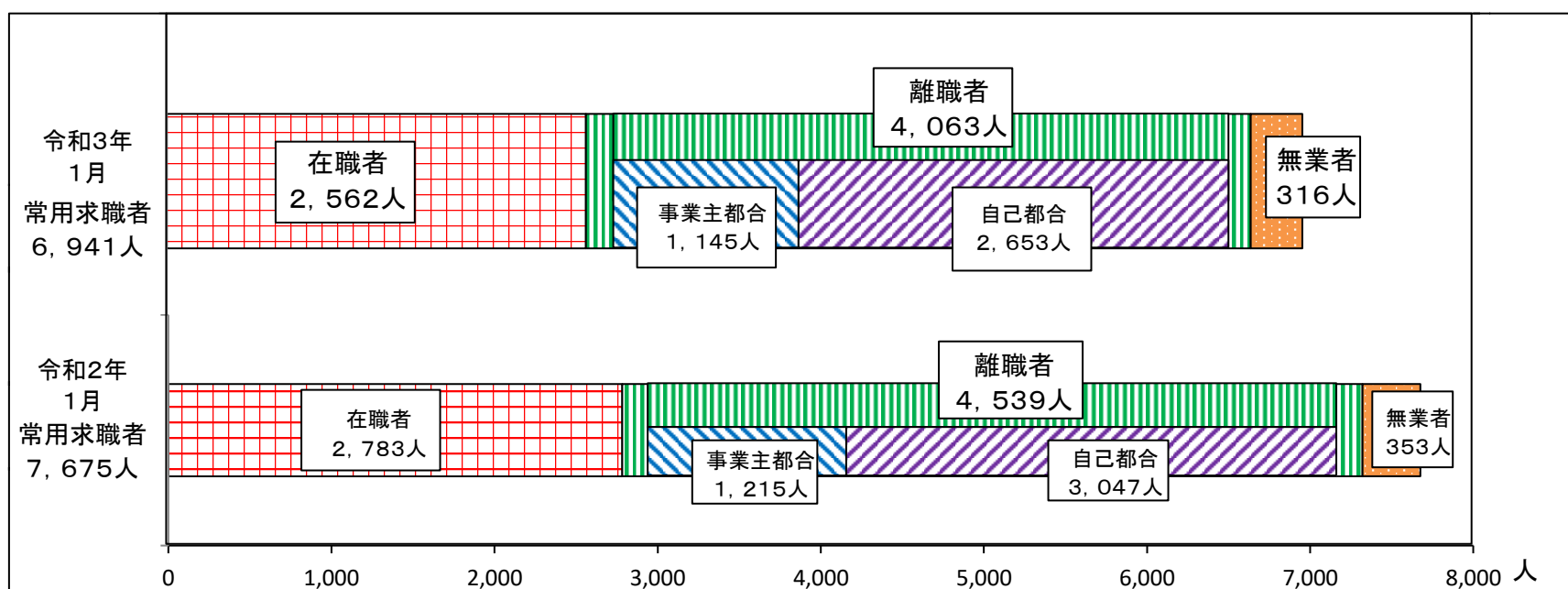
9. 新規求職者数(原数値)の推移

◎新規求職者数は、11,006人となり、前年同月を3か月連続で下回った。



10. 新規常用求職者の求職申込時の状態別状況の推移

◎新規常用求職者の求職申込時の状態は、前年同月比で在職者7.9%の減少、離職者は10.5%の減少、無業者は10.5%の減少となった。

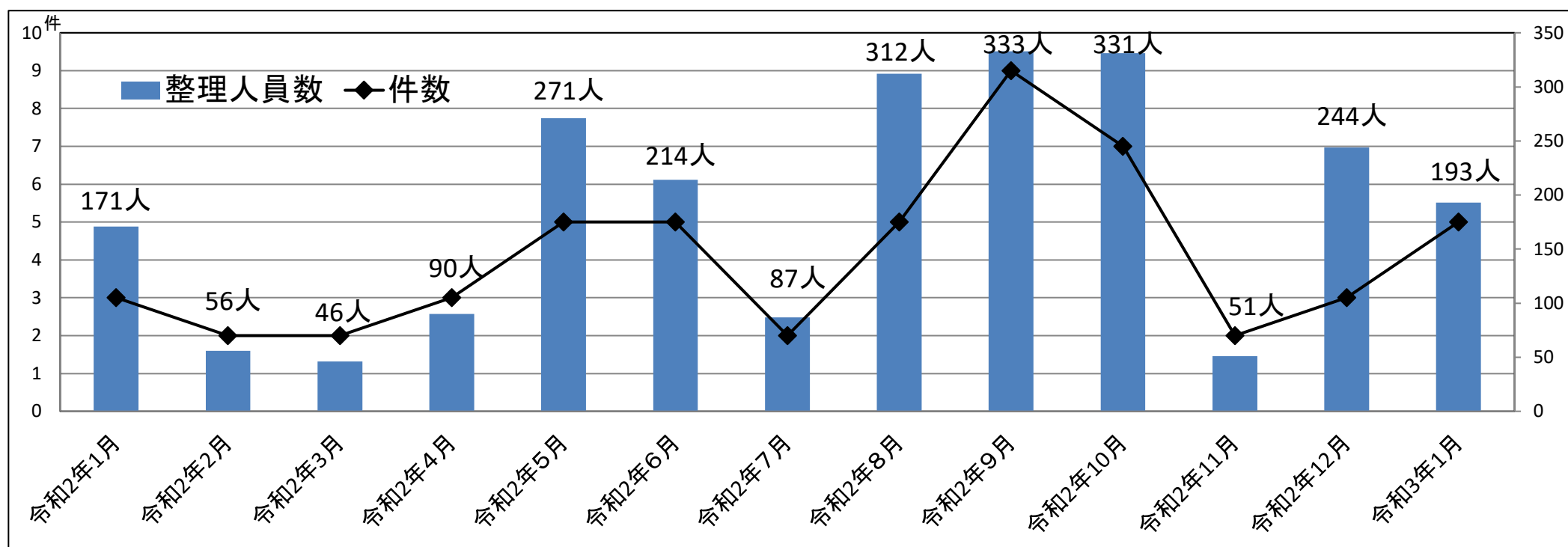


※2 離職者は、「前職雇用者」と「前職自営、その他」(表中では省略)に分けられる。「前職雇用者」は、離職理由別に「事業主都合」、「自己都合」、「定年」、「不明」(表中では省略)に区分される。このため離職者数は内訳と一致しない。
 ※3 無業者とは、家事・育児等従業者及び離職後1年を超えて求職活動をしていない者をいう。

11. 人員整理の状況

(1) 人員整理の状況の推移

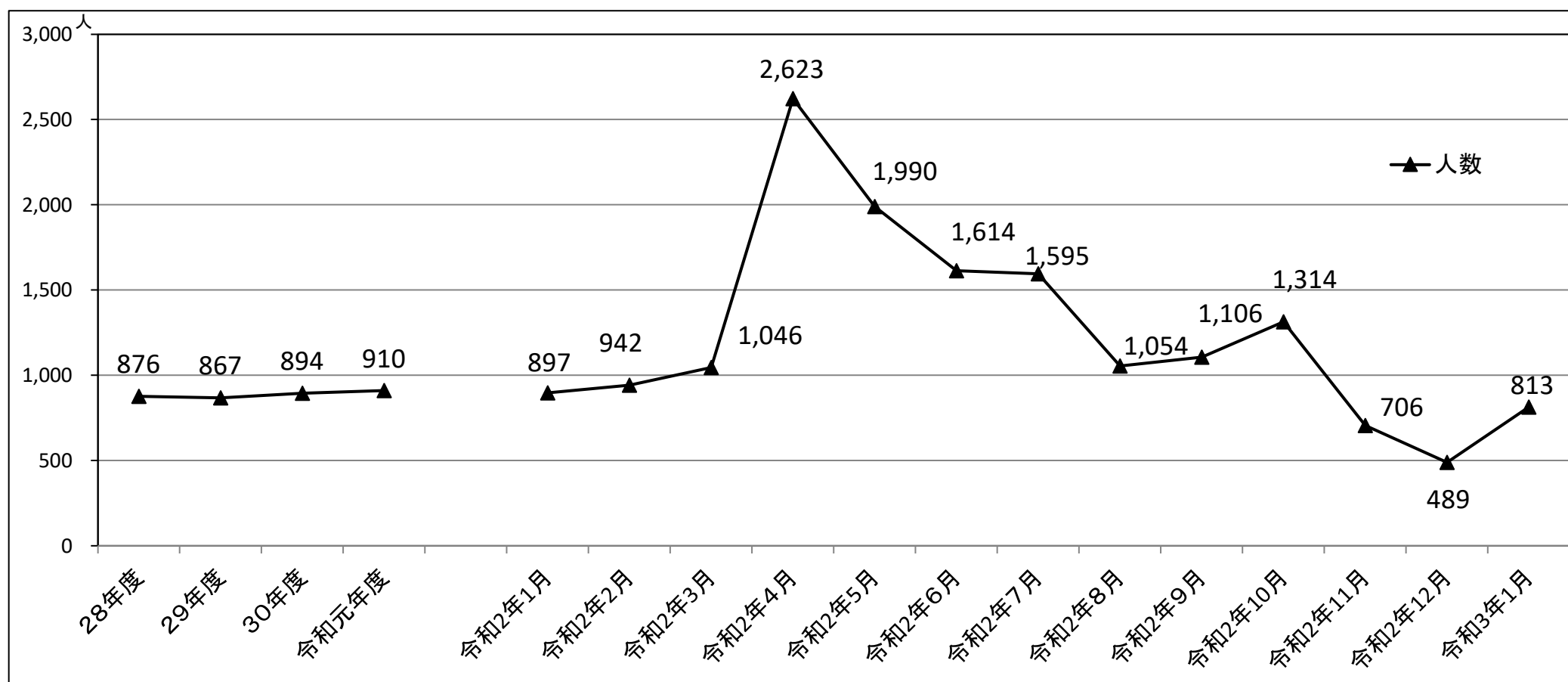
◎人員整理は、5件 193人であった。



※再就職援助計画・大量離職変動届受理等状況報告より(1事業所10名以上のみを計上)。

(2) 事業主都合による離職者数の推移

◎事業主都合による離職者数は813人で、前年同月を9.4%下回った。



※1 雇用保険の被保険者資格喪失データより。※2 年度の数値は月平均値である。

12. ハローワーク別主要指標の状況(令和2年4月～令和3年1月)

項目	所別	東 部					中 部				西 部			局 計
		下田	三島	沼津	富士	富士宮	清水	静岡	焼津	島田	掛川	磐田	浜松	
就職件数(常用)	実績	522	2,181	2,625	1,733	1,074	1,292	2,716	1,858	1,515	1,465	1,850	4,663	23,494
充足件数(常用)	実績	509	1,728	2,684	1,742	898	1,333	3,226	1,753	1,247	1,275	1,572	4,721	22,688
雇用保険受給者の早期再就職件数※ 【令和2年4月分～令和2年12月分】	実績	161	849	1,407	776	392	690	1,579	1,177	655	729	1,146	2,644	12,205

◎雇用保険の基本手当の所定給付日数の3分の2以上残して早期に就職する件数。実績が確定するのは就職件数、充足件数より1～2か月程度遅れる。

職業紹介関係主要指標

静岡労働局計

(令和3年 1月分)

年月		令和3年1月	令和2年12月	令和2年1月	対前年同月 増減率(差)	
項目						
I 全 数	1 新規求職申込件数	11,006	7,835	11,925	▲ 7.7 %	
	うち 常用	10,971	7,804	11,886	▲ 7.7 %	
	2 月間有効求職者数	53,926	54,024	46,329	16.4 %	
	うち 常用	53,744	53,820	46,168	16.4 %	
	3 新規求人数	21,567	19,414	22,232	▲ 3.0 %	
	うち 常用	19,612	17,328	20,474	▲ 4.2 %	
	4 月間有効求人数	57,354	55,659	68,512	▲ 16.3 %	
	うち 常用	52,427	50,798	62,662	▲ 16.3 %	
	5 紹介件数	11,435	8,761	10,094	13.3 %	
	6 就職件数	2,225	2,337	2,381	▲ 6.6 %	
7 新規求人倍率(3/1)		※ 1.86 倍	※ 1.95 倍	※ 1.81 倍	-	
		1.96 倍	2.48 倍	1.86 倍	0.10 p	
	8 有効求人倍率(4/2)		※ 10.00 倍	※ 0.92 倍	※ 1.37 倍	-
			1.06 倍	1.03 倍	1.48 倍	▲ 0.42 p
		地域別				
	東部(原数値)	1.02 倍	1.00 倍	1.44 倍	▲ 0.42 p	
中部(原数値)	1.24 倍	1.20 倍	1.66 倍	▲ 0.42 p		
西部(原数値)	0.95 倍	0.92 倍	1.36 倍	▲ 0.41 p		
9 就職率(6/1 × 100)		20.2 %	29.8 %	20.0 %	0.2 p	
II 一 般	10 新規求職申込件数	6,959	5,101	7,694	▲ 9.6 %	
	うち 常用	6,941	5,090	7,675	▲ 9.6 %	
	11 月間有効求職者数	32,872	32,873	28,439	15.6 %	
	うち 常用	32,789	32,776	28,343	15.7 %	
	12 新規求人数	13,044	12,280	13,691	▲ 4.7 %	
	うち 常用	12,157	11,515	12,767	▲ 4.8 %	
	13 月間有効求人数	35,809	34,798	42,776	▲ 16.3 %	
	うち 常用	33,689	32,848	39,940	▲ 15.7 %	
14 紹介件数	7,037	5,938	6,508	8.1 %		
15 就職件数	1,269	1,329	1,460	▲ 13.1 %		
16 就職率(15/10 × 100)		18.2 %	26.1 %	19.0 %	▲ 0.8 p	
III パート タイム	17 新規求職申込件数	4,047	2,734	4,231	▲ 4.3 %	
	うち 常用	4,030	2,714	4,211	▲ 4.3 %	
	18 月間有効求職者数	21,054	21,151	17,890	17.7 %	
	うち 常用	20,955	21,044	17,825	17.6 %	
	19 新規求人数	8,523	7,134	8,541	▲ 0.2 %	
	うち 常用	7,455	5,813	7,707	▲ 3.3 %	
	20 月間有効求人数	21,545	20,861	25,736	▲ 16.3 %	
	うち 常用	18,738	17,950	22,722	▲ 17.5 %	
21 紹介件数	4,398	2,823	3,586	22.6 %		
22 就職件数	956	1,008	921	3.8 %		
23 就職率(22/17 × 100)		23.6 %	36.9 %	21.8 %	1.8 p	

※1 (全数) = (一般:パートタイム以外の常用及び臨時・季節) + (パートタイム:常用的及び臨時的パート)である。

※2 ※印欄は季節調整値である。(季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。)

※3 ▲は減少率(差)、pはポイントである。

**POINT1 (有効求人倍率)**

有効求人倍率(0.98倍)は、8か月連続で0.9倍台となり、全国値(1.10倍)を17か月連続で下回る(令和元年9月以降)

POINT2 (地域別有効求人倍率)

東部1.02倍、中部1.24倍、西部0.95倍

東部は2か月連続、中部は5か月連続で1倍を上回った

西部は9か月連続で1.0倍を下回った

POINT3 (新規求人倍率)

新規求人倍率(1.86倍)は、前月を0.09ポイント下回る

新規求人数(21,567人)は、前年同月26か月連続の減少(平成30年12月から)

産業別新規求人数は、「運輸業、郵便業」(1,259人)で前年同月比18.7%の減少

「宿泊業、飲食サービス業」(914人)で前年同月比17.7%減少

「建設業」(2,334人)で前年同月比17.6%増加

新規求職者数(11,006人)は、前年同月3か月連続で減少

POINT4 (正社員有効求人倍率)

正社員有効求人倍率(0.85倍)は、全国値(0.87倍)を12か月連続で下回る
10か月連続で1倍を下回った